

令和８年度 明第２東地区意見交換会のテーマについて

（団体名） 竹ヶ花西町町会

（件 名） 市民参加型街頭防犯ネットワークカメラ事業に係る補助金の増額について

（具体内容）

当町会では、当該地域の犯罪抑止力を高めるために、令和６年度から市の行う市民参加型街頭防犯ネットワークカメラ事業に参加している。

令和７年度末現在、町内の東側半分の区域に３か所設置している。

令和８年度以降、町会の西側半分の区域に４か所設置する予定である。

市のシステムがIPv4だけでなくIPv6にも対応可能となったが、IPv6の工事費は、IPv4のそれよりも単価が高く、上限を３０万円とする補助金では賄いきれない状況にある。

今後、IPv4の場合と同様にIPv6の工事に対しても補助金内で工事費が賄えるよう補助金の増額をお願いしたい。

（回 答）

- IPv6はIPv4よりもインターネット接続の速度がより早くなることにより滞りないデータ抽出が図れることに加え、通信の盗聴や改ざんを防ぐ技術が組み込まれ、セキュリティの強化が見込まれることから、各ご家庭におかれましてもIPv6が主流となっています。
- しかしながら、各回線に接続するルーター等の部品についてはIPv4よりもIPv6の方が高価であり、また、機器全体としても物価高騰している状況の中、IPv6をご利用されているご家庭に市民参加型街頭防犯ネットワークカメラを設置する際、補助金額の上限額の３０万円以内で設置できない場合があります。
- 市としても実情に則した補助金設定を施策していかなければならないと思慮していますことから、ご意見につきましては前向きに検討させていただきたいと考えています。

（回答課）市民安全課